

然らば所謂精神生活といふのか？

否！精神生活といふも畢竟物質の上に建てられた生活であつて、物質を度外視して精神生活といふものはあり得る。

こゝに於て吾人は若し、物質に不自由なくして日夜懊惱する人と、身乞食の低さにありて心中光風齊月を賞する人ありとすれば、恐らく兩者は吾人の理想とするに足らざるを思ふだらう……………。

物心協調の向上！！換言すれば、物に對する透徹なる認識に依る開顯、即ち物質生活の徹底的靈化。これこそ人間生活の眞の理想であらねばならない。

山里の一年

半田 淀車

- 鳥なきて朝霧はれる遠山に櫻咲くにや紅の棚雲
- せゝらぎの枕に附きて小夜更ける風なき窓に月ぞかたむく
- 下り行く坂道けはし山里に落葉音なく時兩降るかな
- 身に泌みる寒さに集ういろり邊に竹のふしをれ耳にするなり